

中国茶の茶器

取材協力：Its More Than a SIP (P15 広告参照)

中国茶器セット



すべて中国でのハンドメイド。
茶器セット：\$106 下の茶盤：\$130



金魚の柄のカップ

ふたと茶こし付きなので、オフィスの机や自分の勉強机でも手軽に中国茶が飲める。
\$32

中国茶器セット

小花柄がキュートなこのセットなら、もっとカジュアルに中国茶が楽しめそう。
\$65



携帯茶器セット

これさえあれば、アウトドアや旅行先など、いつでもどこでも中国茶の達人。
\$75



竹製の取っ手付きティーポット

丸みを帯びた形が非常に美しい手作りのティーポット。
ティーポット：\$90
下の台：\$55

コラム お茶の小話

源実朝の二日酔いがお茶で治った?!

鎌倉時代の時代書『吾妻鏡(あづまかがみ)』によると、酒宴続きで二日酔いになっていた三代将軍・源実朝(みなもとのさねとも)に、臨済宗の開祖・栄西が抹茶を勧めたところ、実朝はたちまち気分爽快になったという話がある。栄西は、日本初のお茶についての書『喫茶養生記』の著者。

“夏も近づく八十八夜♪…”とは?

『茶摘み』という歌の歌詞にある「八十八夜」とは、立春(2月4日頃)から数えて88日目、つまり5月1日頃にあたる。この時期に新茶の摘採が始まり、日本の茶畑で茶摘みが見られる。



今回のお茶特集、いかがでしたか?

読者のみなさんがお好みのお茶とともに、残りの冬を暖かく乗り切れますように(編集部より)。